



BベEテLH通E信

2024年6月号（第251号）

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000

ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>

私が看護師を目指した理由（わけ）

3階東病棟主任の澤井と申します。今回ベテル通信の執筆のお話をいただき、私が看護師を目指そうと思ったきっかけを自己紹介を兼ねてお話ししてみようと思います。

私の進路の分岐点となったのは中学生の時でした。それまではなりたい職業に向き合った事はありませんでしたが、中学生の時、大好きな祖父が亡くなった事で人生が変わりました。今思うと、その頃の看護は患者さま中心ではなく、医療中心の時代でした。中心静脈カテーテルを挿入していた祖父は四肢を柵に縛られ、頭・背中・仙骨・下腿・踵部、あらゆるところに褥瘡が出来、「痛い、痛い」と発していました。祖父の声を聴き、孫の私は耳を塞ぎたい思いをしていました。祖父はたびたび「帰りたい」と自宅に帰ることを願っていました。せめて外泊だけでも・・・と、家族と話し合いを重ね、祖父の自宅に帰るという夢がたった一泊でしたが叶いました。農家をしていた祖父に「畑を見せてあげたい！」と車椅子を押して散歩に出掛けたり、「祖父の好きなご飯を作ってあげたい！」と慣れない手つきで作った、決して豪華ではないシチューを「美味しい」と食べてくれたり、その時間が本当に幸せで、病院にいる時とは全然違う嬉しそうな顔に、このまま自宅で・・・と願いました。しかし家は昔ながらの家で段差だらけ。両親も共働きをしていたので介護者もいない状況。今のように在宅環境を整えることも困難で、そして所詮私は中学生の子供。あんなに大事にしてもらっていたのに何もしてあげられない無力感。祖父は翌日病院へ帰っていきました。

祖父は脳梗塞で入院していましたが、そこから肺炎を繰り返しており寝たきりの状態が長期間続いていました。肺炎が落ち着くと今度はリハビリ。久しぶりの気分転換だったはずが車椅子へ座らせてもらうとまさかの心肺停止。そのまま旅立ってしまいました。「たくさん伝えたいことがあったのに。もっと私にできる事があつたらう、もっともっと・・・」と悔いだけが残りました。その時の思いや経験から今に至ります。

医療・在宅体制が整っている今の時代に看護師として働けることを誇りに思います。今偶然にも私は地域包括ケア病棟で働いています。在宅復帰を目指す病棟です。祖父の時に感じていた思いを胸に留め、今日の前にいる患者さま、ご家族の声に、心に寄り添える看護師になれるよう皆さまから日々学び、精進していきたいと思っています。



（3階東病棟主任 澤井 沙知）



新たなことへの挑戦



これを記載している窓の外では、長い連休も明け新緑が眩しく輝いています。当院でも入職者が配属先で業務を開始しています。毎年この季節には新たな力強い一步を感じます。それに比べ、私は新しいことに挑戦する活力が減り、また日々謙虚さが無くなっています。この私が、新たな趣味として体を動かすことに出会いました。1から学ぶためにレッスンを受けています。他人が行っていることを見れば簡単そうに見えることが、自分が行うとなれば難しいことに驚きます。小さな子供は、持ち前の運動神経、身体の柔軟さから、教えられたことがすぐに身につき、上達の速さに驚きます。一方、私は毎回様々な指導を受け励んでいます。教えられたようにしているつもりですが、自分が情けないほど全くできません。コーチからは、日々様々な知識を与えられます。自分が現在どのような状態であるのかを実感できずに、コーチから言われたことに対してのみ修正しようとしています。結果的にはコーチからその場限りの一方通行の指示となっています。実行するのも、どうであるか感じるのも自分だけです。やり始めて間もない時には仕方がない事です、継続することで初めて感じるがあります。自身の状態を画像でチェックして現状を突きつけられ、初めて修正の道が開かれます。悲しき事か、簡単にはうまく修正できません。上手く出来ない現実を受け止め、状況を分析し、対策を練る、分からなければ他人にチェックしてもらい修正を行います。その繰り返しが習練となります。自分で感じ考える事も必要ですが、他者からの視点も重要です。自分はどうしたいのか、今何ができるのかを、コーチと共に考えないといけません。

医師として日々の診療において、患者さま・ご家族、看護スタッフ等に指示しています。医師から見た一面での判断だけではうまくいきません。全ての関係者から見えていることを互いに確認し、同じ目標を定めケアに当たらないといけません。医師の評価や考えだけが、全てではありません。患者さま、ご家族、スタッフがどのように感じているのかを大切に、その上で共通の目標に対しケアを行われなければいけません。この歳になってから他人から教えられる経験を通して、普段の自分の診療を考える機会となりました。共に歩むためには、自分と他人の評価や考えの相違を認めた上で、話し合っケアの目標の設定をしなければいけません。謙虚な姿勢で周囲の方々とケアを作り上げる事が重要です。教えられるという体験を通して、全てに対し謙虚になることの大切さが分かりました。

(院長補佐兼ホスピス医長 坪田 信三)

2024年度 新規採用職員紹介

久徳 華乃子

宮岡 涼子

河本 ことみ

山下 恵子

清家 瑠真

阿部 虎治朗

矢野 紀子

河本 鼓実

後藤 祐希

弓達 尚子

中村 遊

🍌🍎🍎🍎 ①氏名 ②配属部署 ③職種 ④抱負(一言)についてお聞きしました 🍎🍎🍌🍌

①久徳 華乃子 (きゅうとく かのこ)
②3階西病棟 ③看護師
④思いやりのある看護を提供できるよう、1日1日丁寧頑張ります。よろしくお願いします。

①宮岡 涼子 (みやおか りょうこ)
②3階西病棟 ③看護師
④関わっていく全ての方々へ丁寧に接していきます。

①河本 ことみ (かわもと ことみ)
②3階西病棟 ③介護職
④患者さまのペースに合わせて、優しく思いやりのある介護を行います！

①山下 恵子 (やました けいこ)
②4階病棟 ③看護師
④優しさをこめて一緒に頑張っていきます。お願いいたします。

①清家 瑠真 (せいけ りゅうま)
②リハビリテーション課 ③理学療法士
④1日でも早く仕事に慣れて、戦力になれるよう頑張ります。

①阿部 虎治朗 (あべ こじろう)
②4階病棟 ③看護師
④不安とドキドキでいっぱいだけれど、頑張ります。

①矢野 紀子 (やの のりこ)
②4階病棟 ③看護師
④患者さまに寄り添える看護を実践していきたいと思います。よろしくお願いします。

①河本 鼓実 (かわもと つづみ)
②2階病棟東フロア ③看護師
④患者さま、ご家族、医療スタッフとのコミュニケーションを大切にして、その人らしく過ごせるよう、安全・安楽な看護を行いたいです。頑張ります。

①後藤 祐希 (ごとう ゆうき)
②2階病棟東フロア ③看護師
④胸をはって看護を行えるように頑張ります。

①弓達 尚子 (ゆだて なおこ)
②医療相談室 ③社会福祉士
④先輩方にご指導を頂きながら、笑顔を絶やさず前向きに頑張ります。

①中村 遊 (なかむら ゆう)
②3階東病棟 ③看護師
④慣れない環境で緊張していますが、早く業務に慣れるよう日々頑張ります。





リハビリで行う家屋調査ってどんな事？



【目的】

患者さまの病状やご家族の介護力等を考慮して、退院後、自宅で安全に生活できる事を目的に理学療法士、作業療法士が家屋調査を行います。

自宅退院が決まっている患者さまに対し実施しますが、入院初期に自宅に伺い、自宅の環境を知る事で、退院後の生活を想定したリハビリを早期から開始する事もあります。

【何を評価するか？】

患者さまの自宅生活での動線の確認を行い、玄関、トイレ等、退院後の生活に必要な所を評価します。

具体的には、玄関や居室等の段差解消の提案や、手すりの種類や位置の検討を行います。

また、退院後の自宅生活を安全に過ごしてもらう為、ご家族への介護指導や、必要に応じて家具の配置変更の提案をします。福祉用具についても必要性の有無を確認し検討、選定をします。



【どんな調査の流れで進むの？】

- ① 多職種で家屋調査の必要性を検討します。
- ② 社会福祉士が患者さまやご家族と調査日の調整を行います。
- ③ 当日は、当院の理学療法士、作業療法士、社会福祉士が自宅に伺い退院後の生活環境を評価します。
(福祉用具専門相談員、ケアマネージャーが同行する場合があります。)
- ④ 理学療法士、作業療法士は家屋調査報告書を作成し、病棟看護師、社会福祉士、ケアマネージャー、福祉用具専門相談員と情報を共有します。
- ⑤ 患者さまやご家族に調査結果や改修案を説明します。改修内容が決定すると、社会福祉士、施工業者、福祉用具専門相談員で退院予定日に合わせて改修の調整を行います。



このような流れで安全で快適な自宅への退院後の生活を送る事ができるように支援していきます♪

(作業療法士 八木 泉)

外来診療日のお知らせ

◎豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）

6月12日（水）、6月26日（水）



松山ベテル病院では、接遇目標・医療安全推進目標をかかげています

6月 接遇目標



接遇委員会

5・6月 医療安全推進目標



医療安全委員会

新人紹介

すずか あいみ
鈴鹿 愛実

配属部署：3階東病棟

職 種：看護師

抱 負：患者さまひとりひとりに寄り添えるよう頑張ります。



掲示物紹介



4階病棟看護師の作品

梅雨も楽しく
なりそうですね♪



- ・投句箱を外来・各病棟に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。
- ・『ベテル通信』について、ご意見やご要望を「ご意見箱」へお寄せください。
- ・掲載中の写真についてはご本人、ご家族の許可を得ています。

発行日 2024年5月23日